

2/25 郑海

ワクチン接種1回論浮上

自民内から政府は慎重

1人2回を前提に始めた新型コロナウイルスワクチンの接種をめぐり、自民党内から、多くの人に打てる1回接種を検討すべきだとの意見が出ている。ワクチンが順調に届かない場合の「政治的な判断」も視野に入れるが、政府側は2回接種を維持する構えを崩していない。

医療従事者を対象に17日には現在、米製薬大手ファイサーとドイツのバイオ企業ビオンテックが開発したりクチンが使われている。このワクチンは一回目から3週間をあけて2回目を接種14日に承認した。
だが、十分なワクチンが届くか見通せていないなか、自民内からは「接種を構築すべきだ」との声も出始めた。下村博文政調会長は24日の記者会見で「英國

- ファイザー社の治験結果
発症率減らす効果95%
- 田村憲久厚労相
1回打ちは発症予防効果
は一定程度落ちる
- 菅義偉首相
2回接種で準備をしている
竹内謙公明党政調会長
(1回に見えるなら)人命に関
わることなので、多角的に慎
重に議論を

ウクチン接種一回でもいい?政権内でも議論

注射器に吸入される新型コロナウイルスのワクチン
2021年2月17日、国立病院機構東京医療センター、代表撮影

政府側はいまのところ、
慎重姿勢を貫く。首相官邸
で24日に菅義偉首相と会談
した公明党の山口那津男代

表によるが、直訳は「二回接種で準備をしていたたので、やれど考へ方で、おもつたに」と語ったところ。
「血眼鏡でも血眼鏡でも、政治的に決めておけない領域（直訳周辺）」と書かれていた。

「アライガモ」「3週間あけて2回接種かいい」といふ効果が確認できる」としており、「1回接種を公示した認められた」とはいえない立場だ。

「アイガモ」「3週間あけて2回接種かいい」といふ効果が確認できる」としており、「1回接種を公示した認められた」とはいえない立場だ。

政府の慎重論の背景には、一回目の接種を優先するといふにすると、市町村で始まる接種の計画が大きな変更を迫られることがある。調整を担う河野太郎行政改革相は23日のテレビ番組で「田村厚労大臣の权限」としながらも、「(1回への変更が)ないとお詫びないが、今の時点ではしっかり2回ずつ打つていく前提で計画を作っている」と語った。

(坂本純也・笛井継夫・姫野直行)